



にしじ

初期臨床研修を終えて

～研修を終えた感想と今後の抱負～

..... P2~4

4

APRIL 2020 Vol.174

第58回 全国自治体病院学会 優秀演題受賞

栄養局 田部井 彩乃 P5

第68回 学会出張報告 P6

わたし、がんばってます P7

院内デイケアやっています P7

高知医療センター イベント情報 P8



3月13日(金) 初期臨床研修医(医科・歯科) 研修修了式にて

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —

初期臨床研修を終えて

～研修を終えた感想と今後の抱負～

初期臨床研修を修了される15名(医科14名、歯科1名)の先生方、厳しい研修の日々を立派に乗り越えられ、本当によく頑張ってお勉強をされたと思います。大変お疲れさまでした。そして「修了認定」おめでとうございます。さあ、これからは各自が選択された専門診療科の道での新たな専攻科研修のスタートです。先生方皆さんが“For the Patients!”の精神を決して忘れることなく、各々の道を極め、益々大きく発展されることを確信しています。高知医療センターで学んだ多くのことを活かしてこれからも是非頑張ってお活躍ください。

【臨床研修管理センター長 澤田 努】

2年間、大変お世話になりました。たくさんの方々に支えられて、無事、初期研修を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。当院での研修を通して、たくさんの経験を積むことができ、大変充実した日々を送ることができました。ここで学んだことを活かして、これから先も日々成長していきたいと思えます。

来年度からも、引き続き当院にて研修させていただき予定です。少しでも早く高知の医療に貢献できるよう、精進して行きたいと思えます。今後とも、よろしくお願いいたします。



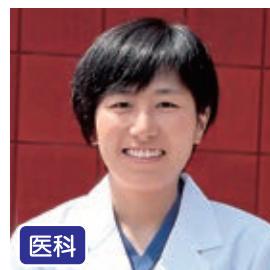
医科

大高 泰幸

おおたか やすゆき

2年間、本当にお世話になりました。上級医の先生方やコメディカルの方々、地域の方から多くの事を指導していただき、学ぶことができた2年間でした。また、研修医として過ごしていく中で、未熟さや至らなさを感じることも多かったのですが、たくさんの方に相談にのってもらいながらなんとか研修を終えることが出来ました。

4月からは高知大学に戻り、脳神経外科として後期研修を行う予定です。働く場は違いますが、これからも高知県の医療に貢献できるよう努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



医科

鍵本 奈緒

かぎもと なお

まず初めに、故郷である高知県で研修ができたことに感謝いたします。

医療センターは第三次救急病院であり、急性期の患者さんの治療を多く深く学ぶことができたと思えます。

その過程では、経験豊富な先生方、協力してくださる医療スタッフの方、そしてなにより患者さまに教えていただきました。自分が理想としていた研修ができたと感じています。

今後は県外に出て引き続き研修を続けます。医療センターで得た経験を糧に頑張ります。

来年度以降も、後輩たちが医療センターでの研修をいたします。医療スタッフの皆さま、患者さま、厳しく、時々優しく、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



医科

川田 健太郎

かわだ けんたろう

2年間大変お世話になりました。指導して下さった各科の先生方、コメディカルの方々のおかげで、充実した研修生活を送ることができました。お忙しい中、ありがとうございました。

今後は高知県で内科医として地域医療に貢献していく予定です。早く一人前の医師になれるよう、努力をしていきます。

最後になりますが、皆さまのおかげでかけがえない研修医生活を送ることができました。本当にありがとうございました。



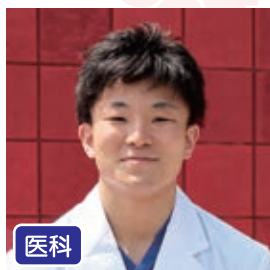
医科

公家 誠志

くげ まさし

初期臨床研修医として2年間大変お世話になり、誠にありがとうございました。多くの診療科の先生方を始めスタッフの皆さまの支えが無ければ、ここまで研修を続けてくることは難しかったとひしひしと感じております。

4月からは引き続き高知医療センターの救命救急科・総合診療科で後期研修をさせていただきます。少しでも高知の医療に貢献できるよう研鑽を積んで参りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

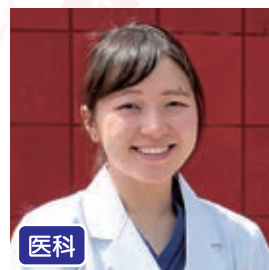


医科

高 彬良
たか あきら

2年間、様々な科の先生方やスタッフの皆さまに支えていただきながら、無事研修を終えることができました。温かいご指導のもとで、たくさんのことを学ばせていただき、患者さんの気持ちに寄り添えるような医師でありたいという思いがより一層強くなりました。

今後は高知県内で勤務する予定です。この研修での経験を糧に、高知県の医療に貢献できるように日々研鑽を積んでいきたいと思ひます。2年間大変お世話になり、本当にありがとうございました。今度とも何卒よろしくお願申し上げます。



医科

津野 桃里
つのもり

初期研修医として2年間お世話になりました。

この2年間に高知医療センターで経験した様々な出来事はこれからの医師人生においてかけがえのない経験になったと思ひます。ご指導いただきました諸先生方を始め、看護師さんや検査技師さん、リハビリのスタッフの方など様々な支援があつてこそ過ごすことができた2年間でした。

4月からは当院で産婦人科研修を始める予定です。この2年間の経験を踏まえ来年からの診療にも役立てて参ります。今後ともよろしくお願いたします。



医科

難波 孝臣
なんば たかおみ

2年間多くの診療科で研修させていただきました。大変お世話になりました。ご指導して下さったスタッフの皆さまのおかげで、多くのことを学ぶことができ、とても充実した初期研修を送ることができました。2年間ありがとうございました。

4月からは引き続き高知医療センターの小児科で後期研修をさせていただきます。少しでも早く高知の医療に貢献できるように邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



医科

林 一鷹
はやし かずたか

2年間高知医療センターで研修させていただきました多くのことを学ばせていただきました。研修当初は、臨床に全くついて行くことができず、当直のたびに無力さを感じていました。

指導医の先生方、医療スタッフの皆さまのご指導により、徐々に現場にもなれることができました。日々、医療の難しさを実感しながら研修を行っているとあっという間の2年間でした。良き同期・後輩にも恵まれ、互いに切磋琢磨しながら、とても充実した研修を行なうことができました。

今後は、高知県内で脳外科専門医を目指し、高知県の医療に貢献できるように精進してまいります。今後とも皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



医科

藤田 昇平
ふじた しょうへい

2年間ありがとうございました。思い返せば右も左も解らない、点滴1本を取るのにすら戦々恐々としていた研修1年目の時期に比べると1人の医師としてようやく自信を持って診療にあたる事が出来るようになりました。

こうして無事に初期研修を修了出来たのも指導して下さった先生方や病院のスタッフ方、また温かい目で見守って下さった地域の皆さまのお陰です。初期研修終了後は救急医として研鑽を積んでまいります。まだまだ医師として半人前ではありますが、将来高知県の皆さまに信頼していただける医療を提供出来るように精進してまいりますので、今後ともどうかよろしくお願いたします。



医科

前田 悠至
まえだ ゆうじ

2年間大変お世話になりました。至らない点が多く、ご迷惑をお掛けすることばかりでしたが、多くの先生方やスタッフの皆さまにお世話になり、なんとか研修を終えることができました。当院で学んだことをこれからの仕事の中で活かしていきたいと思えます。



医科

前田 優也
まえだ ゆうや

今後は高知県内で眼科医として勤務する予定です。高知の医療に貢献できるようより一層努力していきたいと思えます。今後とも何卒よろしくお祈りします。今まで本当にありがとうございました。

2年間大変お世話になりました。多くの診療科で研修させていただきましたが、指導医・コメディカルのスタッフの皆さまのご指導により、無事に初期研修を終えることができました。多くの失敗から得た教訓は、今後の医師人生の糧になると思えます。

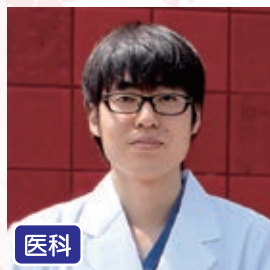


医科

水谷 圭佑
みづたに けいすけ

4月からは高知大学泌尿器科に所属することになりました。所属は変わりますが、これまでと同様に高知県の医療人として少しでも高知県の医療に貢献できるように今後も精進いたします。2年間本当にありがとうございました。

2年間大変お世話になりました。初めは右も左も分からず、ご迷惑をおかけする事も多々ありました。ですが、多くの指導医の先生方にご指導を賜り、スタッフの方々にも支えていただいたおかげで、無事2年間の研修を終えることが出来ました。



医科

宮本 大地
みやもと だいち

外来や病棟、手術室で多くの経験をする事が出来ました。失敗することもありましたが、それも含めて自分の糧となり、成長できた事を実感しています。

4月からは引き続き医療センターに所属し、内科専攻医として勤務する予定です。至らぬ点もあるかと思いますが、日々精進し、診療に励んでいこうと思えますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

指導医の先生方及びコメディカルのスタッフの方々、2年間温かいご指導をしていただき、誠にありがとうございました。皆さま方のご支援のおかげで充実した研修期間を送ることができ、僅かではありますが自身が成長したことを実感しております。



医科

吉本 皓一
よしもと こういち

4月から引き続き医療センターのスタッフの一員として働かせていただきます。多々ご迷惑をおかけすることになりますが、これからもご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお祈りいたします。

私自身、最初は2年間高知医療センターのみにて研修を行う【単独型】を希望しておりましたが、歯科口腔外科部長の立本先生より「幅広く一般歯科も研修しておくよう」アドバイスを頂戴した結果【管理型・2】として先ずは1年間の研修を修了させていただきました。結果的には大成功でして、歯科研修医として実に幅広い経験をさせていただきました。



歯科

鎌田 正之
かまだ まさゆき

それは、今後高知県の歯科医療の末端を担わせていただく上での、貴重な一歩でもありました。

そして私はこの4月より、『2年目研修』として再び高知医療センターにて研修を続けさせていただくこととなりました。更に研鑽を重ねる必要があったからです。今は1年間の研修を修了させていただいたことへの感謝と共に、2年目研修への決意を新たにいたします。

ますますのご活躍を
お祈りしています♪



第58回 全国自治体病院学会 ポスターセッション優秀演題受賞

栄養局 田部井 彩乃

2019年10月24日・25日に徳島県で開催された第58回全国自治体病院学会のポスターセッションにおいて、「循環器フロアでの栄養食事指導対象患者の抽出方法の検討」で優秀演題賞をいただきましたのでご報告いたします。

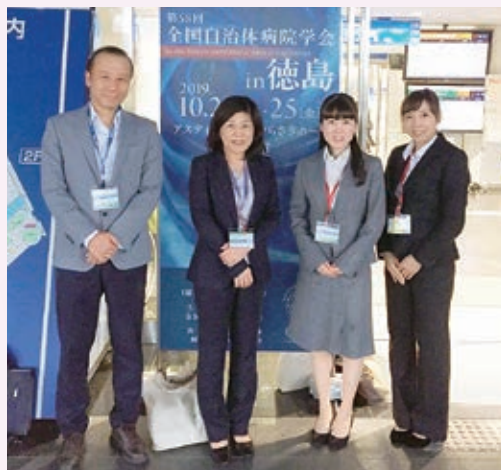
当院では、各フロアに担当管理栄養士が常駐し日々の業務を行っていますが、循環器フロアにおける管理栄養士業務では、慢性疾患の栄養食事指導件数が多いことが特徴です。その理由としては、ほぼ全ての患者が高血圧を初めとする慢性疾患を有しており、栄養食事指導の対象となることが挙げられます。これまで、院内全体の栄養食事指導件数増加への取り組みの一環として、平成23年度からクリニカルパスに医師からの栄養食事指導指示項目を追加し、フロアの人員体制も1名から1.5～2名体制へと増員した結果、徐々に指導件数は増加となっています。しかし、平成28年度の診療報酬改定で、指導時間の延長と加算点数増となったため、稼働額としては増加している一方で、実施件数は減少しています。そのため、今後の課題としては、限られた時間内で栄養食事指導の必要度が特に高い患者に実施することが重要となるため、抽出方法について検討を行いました。

今回のデータ分析対象は、2016年度から2018年度の3年間に経皮的冠動脈形成術(percutaneous coronary intervention: PCI、以下PCIと略す)にて入院された患者。結果は、全対象患者786名、男性572名(72.8%)、女

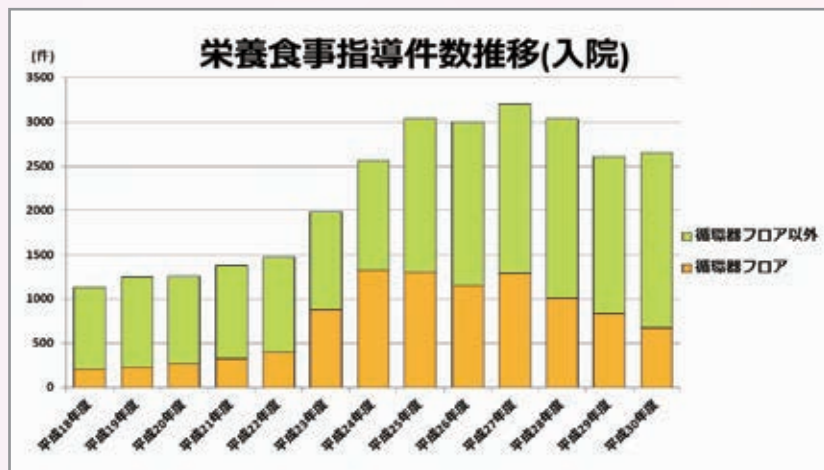
性214名(27.2%)。年齢は70代が259名(33.0%)、次いで80代203名(25.8%)でした。日本動脈硬化学会の2017年度版動脈硬化性疾患予防ガイドラインで挙げられているリスクについては、高血圧を有する患者は568名(72.3%)、糖尿病は454名(57.8%)、脂質異常症は458名(58.3%)、高尿酸血症は149名(19.0%)でした。リスク重複状況は、3つのリスクを有する患者は234名(29.8%)、4つのリスク全てを有する患者は77名(9.8%)でした。また、動脈硬化の指標とされているLH比(LDLコレステロール/HDLコレステロール比)については、基準値2.0より高値となる患者が427名(54.3%)と半数以上を占めていました。予防ガイドラインと同様に、当院のデータでもPCI実施患者においてリスクを持つ患者、LH比高値の患者が多く、さらにリスクの重複がみられる結果となりました。

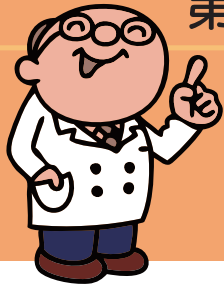
栄養食事指導件数においては、日本栄養士会報告(平成28年度全国病院栄養部門実態調査)では基幹病院の実施件数年間平均は1594件、自治体病院協議会報告(平成30年度栄養部会アンケート報告)では病床数500床以上の自治体病院で年間平均2993件であるのに対して、当院では年間4177件(平成30年度)実施しています。これからも引き続き件数増に向けた取り組みを進めていきたいと思っています。

最後になりましたが、学会発表にあたり指導していただいた先生方に深く御礼を申し上げます。



左から栄養局 福井局長、十萬次長、岡、田部井(筆者)





London Valves 2019

2019.11.17~19

循環器内科 尾原 義和

2019年11月にイギリス・ロンドンで開催されたLondon Valves 2019に参加してきました。この学会はヨーロッパで行われる心臓弁膜症に対するカテーテル治療に特化した国際学会です。ヨーロッパはこの分野に関しては世界の最先端を進んでおり、全世界からその知識を得ようと参加者が年々増加しております。私事ですが、当院では経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を2015年1月から開始しておりますが、初症例は何としても成功させなければいけないと、すでにTAVIが開始されていた大阪大学や慶應義塾大学などにひたすら見学に行き勉強しておりました。そんな折に慶應義塾大学の林田健太郎先生(TAVIの日本におけるパイオニアで、当院TAVIの立ち上げにも大いにご協力いただいた先生です)から、“先生、London Valvesっていう学会があるから、参加したら勉強になりますよ”と言われたのがこの学会を知ったきっかけでした。2014年に初めてLondon Valvesに参加した時は、日本との違いに驚愕した事を今でも覚えております。

毎年9月に開催されるこの学会ですが、今年は11月中旬の開催でした。11月のロンドンは非常に寒く、冬物の衣類をスーツケースに詰め込んで出発しました。以前は参加人数もさほど多くないため、ロンドン市内の会場でしたが、近年は参加者が多くなった影響かロンドン郊外の大きな展示場が会場となっております。移動に少し時間が掛かり、大変です。

TAVIに関しては日本でもそうですが、ほぼ成熟した治療になっており、今はいかに低侵襲に治療を行うかが主となっております。具体的にはヨーロッパではほぼ全例で鎮静+局所麻酔でTAVIが



行われており、いかに早期退院を目指すかが議論になっておりました。またTAVIのアキレス腱である術後の伝導障害に関して、CTを用いた留置方法で術後のペースメーカー留置を回避する事などが報告されておりました。

新しい分野としては現在日本では施行されていない三尖弁に対するカテーテル治療も多くのセッションで議論されておりました。三尖弁閉鎖不全に対するクリップ手術の一年の良好な成績(TRILUMINATE study)が報告され、今後実臨床に広がっていくことが期待されます。

2019年6月から当院で経皮的僧帽弁接合不全修復術(マイトラクリップ)が開始となり、多くの患者さんの治療を行っております。ヨーロッパではマイトラクリップの次の治療として、経皮的僧帽弁置換術が臨床治療に向けて進んでいます。これまで心尖部アプローチであった経皮的僧帽弁置換術(侵襲度が高く、経皮的というのかはさておき・・・)が、より低侵襲の経静脈アプローチのデバイスの発表が多く見られました。

London Valvesは今自分が行っている治療の勉強にもなり、また最先端の治療に触れる事ができるので、非常に有意義な学会です。是非機会があれば、来年以降も参加したいと思い、ロンドンを立ちました。最後になりましたが、非常に多忙な時期に快く海外出張に許可いただいた同僚に感謝します(羽田空港に着いた瞬間に緊急治療の呼び出しをいただき、時差ボケを感じる間もなく、仕事復帰できた事も感謝します(笑))。





こんどう のぶお
心臓血管外科 近藤 庸夫

2020年1月より心臓血管外科にて勤務しております。高知出身ではありませんが大学より高知に在住し、高知大学を卒業後、各地で心臓外科専門医などの各種資格を取得し、

また心臓専門施設での手術経験を積み、この度高知医療センターで勤務させていただくこととなりました。これまでの経験を活かしつつ、さらに研鑽を積んでより良い医療の提供ができるように心がけていきたいと思っております。患者ファーストの精神で頑張っていきたいと思っておりますのでご迷惑をおかけすることも多々あると思っておりますがよろしくお願いいたします。



新任医師紹介

わたし、がんばってます



よしだ まなつ
耳鼻咽喉科 吉田 真夏

2020年1月から耳鼻咽喉科で勤務させていただいております。高知大学を卒業後、初期研修を経て、高知大学耳鼻咽喉科に入局し、いままでずっと大学病院に勤務しており、医師

8年目にして初めての異動になります。まだまだ不慣れなことが多く、皆さまにご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、皆さまに頼られる耳鼻咽喉科、機動力の耳鼻咽喉科をめざして、精いっぱい頑張らせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



みやした こうへい
救命救急科 宮下 浩平

2020年1月より救命救急科に赴任いたしました宮下浩平と申します。救急医としてはなりたてで、日々新しい刺激をうけながら過ごしております。

出身は神奈川県ですが、大学からは高知で過ごしており、物心ついてからの生活は高知の方が長くなりました。

大好きな高知県の医療に少しでも貢献できるよう、病院前診療から集中治療まで精進していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

院内 デイケア

やっています。

このようなメンバーでやっています

当院に入院されている方に、治療の一環として、院内デイケアを開始しましたので、お知らせします。

入院された方の中には、昼間に刺激がなく「ぼんやりとしたり」「うたた寝をしたり」して「夜中に眠れない」状態になり、昼夜のリズムを乱してしまう方がいます。

また、入院すると家と環境が違うため、心の安定が保てず、眠れない、食べられない、元気がない、といった症状が出る方もいます。このような状態になると、治療の効果を抑えたり、リハビリの開始が遅れたりして、退院までの期間が長くなります。

このような症状の予防や治療のために、院内でデイケアを試行することとしました。令和2年1月から、週に一度、主治医の先生から紹介をいただいた入院患者さんに病棟やベッドから離れてもらい、スタッフ数名と一緒に音楽を聞いたり、歌を歌ったり、風船バレーなどを楽しんでもらっています。



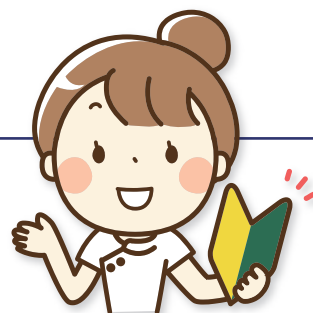
この院内デイケア活動を始めてから、毎回4、5人の患者さんに来てもらっています。デイケアのはじめには、元気がなく、あまり話ができない方が、デイケアの終わりには表情がよくなり「楽しかった」と話しているところを見ることができて、嬉しく思っています。現在は、週に一度しかできていませんが、徐々に回数を増やして充実していきたいと考えています。

機会がありましたら、是非お立ち寄りください。

こころのサポートセンター長 澤田 健

4/3
(金)

内容：食事介助と摂食・嚥下障害患者に対する援助
講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師
場所：高知医療センター 2階 スキルズラボ室
時間：13：30～16：30／対象：新人看護師(10名)



内容：スキンケア1
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師
場所：高知医療センター 1階 研修室2・3
時間：9：00～11：00／対象：新人看護師(16名)

4/10
(金)

内容：弾性ストッキング
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師・リンパ浮腫指導技術者
場所：高知医療センター 1階 研修室2・3
時間：11：00～12：00／対象：新人看護師(16名)

内容：口腔ケアの基礎
講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師
場所：高知医療センター 1階 研修室2・3
時間：13：00～15：00／対象：新人看護師(10名)

5/13
(水)

内容：ストレスマネジメント1
講師：高知県立大学 教員
場所：高知医療センター 1階 研修室2・3
時間：9：00～12：00／対象：新人看護師(16名)

5/22
(金)

内容：救急看護1
講師：高知医療センター インストラクター
場所：高知医療センター 1階 研修室2・3
時間：13：30～17：30／対象：新人看護師(15名)

5/28
(木)

内容：フィジカルアセスメント1
講師：急性・重症患者看護専門看護師
場所：高知医療センター 1階 研修室2・3
時間：8：30～17：00／対象：新人看護師(16名)

申込用紙は当院ホームページ 看護師他施設公開研修よりダウンロードできます。必要事項をご記入の上 FAXにてお申し込みください。申込代表者は看護部門の担当者様をお願いいたします。

お問合せ：看護局 教育担当 有澤・佐野・川田

TEL.088(837)3000(代) FAX.088(837)6766

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

日中はあたたかな日差しが降り注ぐことも増えてきました。桜の開花に加えて、町のあちこちで春を感じる季節の到来にワクワクしています。

春といえば、先日、ベランダでテントウ虫を見つけました。すると、子供たちが「陽が当たる葉っぱの所に連れていく！」と言い、小さな手にしっかりと抱えて移動させていました。その姿を見て、忙しい日々のなかでも少し立ち止まって、今しかない季節の移ろいを感じていたらと思いました。

4月は入学や就職など人生の大きな節目を迎える時でもあります。新しい環境に不安や戸惑いもあるかと思いますが、様々な出会いや人との繋がりに期待を膨らませつつ、皆さまにとって良い新年度が迎えられますことを願っております。
(地域医療センター 羽方)



令和2年4月1日発行
にじ4月号(第174号)
毎月発行
編集者：広報委員会
発行者：島田 安博
印刷：株式会社 高陽堂印刷

発行元：
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター

〒781-8555 高知県高知市池 2125-1
TEL:088(837)3000(代)